

「2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方 及び技術的条件」に関する提案募集への提案

平成 25 年 4 月 26 日

組織名及び 代表者氏名	スカパーJSAT 株式会社 代表取締役 執行役員社長 高田 真治	組織名及び代表者氏名 の公表の可否
		可
住 所	東京都港区赤坂一丁目 14 番 14 号	
連絡先	担当者氏名：奥永 孝仁 電話：03-5571-7510 F A X：03-5571-1701 e-mail：tokunaga@sptvjsat.com	

意見

(1) 2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方について

震災等の災害時においては、地上のネットワークが途絶した際に、衛星経由での通信に切り替わる、地上と衛星とで周波数帯を共用する携帯電話により通信を確保することが、国民の安心・安全確保の観点から非常に有用であると考えているため、当該周波数は地上/衛星共用携帯電話システムの実現に向けた検討を行うことをご提案いたします。

(2) 2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の技術的条件について

- ① IMT に割当てられた周波数帯である 1980～2010MHz 及び 2170～2200MHz を利用するシステムに関しては、将来の国際利用を考慮して、世界的標準化を考慮した技術基準を作成し、相互接続性を確保することをご提案いたします。
- ② 2GHz 帯にて移動衛星通信システムを構築した場合、衛星とユーザ端末間のサービスリンクを S 帯とし、衛星と基地局間のフィーダーリンクは C 帯、Ku 帯、Ka 帯などの広帯域性のある周波数を使用することが一般的であると認識いたしております。衛星軌道位置の決定及びフィーダーリンク周波数の決定に必要となる、既存衛星回線との調整は、検討すべき課題であると考えます。